

風早北部 防犯情報 しょうなん

SHOW “No Action No-result”

私たちの近所でも… 消火器の訪問販売詐欺が発生

当地域内（塚崎地区）住宅地にて、年齢40～50歳代の男性が「消防署の方から来た」などと言って訪ね、訪問宅に備え付けられた消火器の使用期限切れを指摘、新しい消火器を高額な値段で売りつける事案が発生しました。

【6月21日の事案として22日付での柏市消防局からの通報です】



消防署員・消防団員やその関係者が消火器の点検のために一般家庭を訪れ、消火器を斡旋・販売することは決してありませんし、外部業者に委託した販売も行っていません。それは間違いなく詐欺行為ですのでくれぐれも注意しましょう。

消火器はお近くのホームセンターにて、1本概ね4千～5千円の価格（家庭用の小型タイプ）での購入が可能です。お店によっては旧い消火器を購入本数と同じ数まで無料で引き取ってもらえますので、事前に電話でお店に確認してみましょう。



行政が訪問販売することはありません！



これから大雨・台風シーズンを前に、屋根の点検に訪れ、修理を高額な金額で勧める悪徳業者も徐々に現れる季節です。特に、高齢者が被害に遭う可能性が高いので、高齢者と同居の方、お近くに高齢者世帯のある方は、高齢者への注意喚起をお願いします。

次頁（裏面）以降で、ウクライナ情勢を騙った詐欺や疑わしい話への注意喚起をお知らせしています。

ウクライナ情勢を悪用した詐欺手口に注意しましょう

国民生活センターに寄せられた情報を以下のとおりお知らせします。不審な電話・怪しい話にはくれぐれもご注意を！

事案その①

ウクライナへの義援金募集をSNSで知り、早速千円を募金した。その後その義援金サイトがニセモノと判明したが、返金の手立てはあるか？

【30歳代男性の相談】



事案その②

ウクライナの戦地に送る冬物衣類を回収したいとの来訪者があり、不要になった自分の衣類を渡そうとしたら、服は後でいいので貴金属はないか？と迫ってきた。その申し出を断ると、その人物は2度と来なくなった。

【40歳代女性の通報】

事案その③

「以前の伝票を頼りに連絡した。ウクライナ情勢やコロナ感染症で海産物の売り上げが減ったので協力して欲しい」と北海道の事業者を名乗る者から連絡があった。断り切れず品物を購入したが、決して安くはなく北海道産でもなかったのでキャンセル（クーリングオフ）したい。



【30歳代女性の相談】

事案その④

SNSを通じウクライナで医師をしている日本人と知り合

った。ウクライナから荷物と現金を日本へ送りたいが、受取人を探している。荷物を送るのに200万円の保険が必要となつた。暗号資産での建替え払いをお願いできなか？と相談された。どうしたらいいか？

【50歳代女性の相談】



事案その⑤

自分の卒業大学の関係者を名乗る人物からウクライナへ送る支援金を募っているので、募金をお願いしたいとの連絡があった。その後、念のため母校に連絡をしたが、募金活動は行っていないとの回答であった。【70歳代女性の通報】



事案その⑥

男性からの電話で「ウクライナの人を助けるため書籍を購入して欲しい。代金引換で書籍を送る」と告げられ、困っている。どうしたらいいか？

【70歳代男性からの相談】



不審な話・電話を受けたら、
一人で悩まず国民生活センタ
ー「188」へ連絡ください。

詐欺グループは日々報道されるウクライナの惨状
をネタに人々に迫ってきてます